

たんちよう

No. 123
10月号

HSK

編集／釧路地方腎友会



【目次】

「シャント」 やまいだれに寺——つれづれ —— 竹内 昇 —	1・2
雲仙・普賢岳カンパ結果報告	3
「旅紀行」	4～8
○（釧路）藤原 一文	○（釧路）久島 奈津子
○（林田）飯村 勲	○（釧路）飯島 かをる
○（釧路）山田 セツ子	
北大付属病院の思い出	9
おいしいお店	10
クロスワードクイズ	11
会員の動向	12・13

痛くて、苦しい日が一月ほど続いた。そのためか、恥ずかしさも、ためらいもなくなり、早く楽になりたい一心で手術を受けることにした。いわゆる「痔」である。

手術後わかったことであるが、痔は、「やまいだれにキス」と書く。文字通り痔の病にかかったら、行き着く先は寺——ということなのか、昔は命にかかわるやっかいな病気であったようである。

それを聞いて心配になったりしたが、手術後四日目にして治療といえば、朝晩患部を消毒するだけなので日中の外出や入浴が許されるようになった。こんな楽な入院はかつてなかっただけに、果たして直るのだろうか、これも心配になったが、三週間足らずで無事退院することができた。

今回の入院で感じたことは、医学の進歩は目覚ましいということ、醫友会の先進に感謝しなければならないということであった。医学の進歩については、「痔

の手術ほど痛いものはない」と聞いていたし、「手術後の経過が思わしくなく、続けて三回手術した」という話を聞かされていた。しかし、私の場合は、先述の通り、痛かったのは麻酔が切れたあと、痛み止めの注射も飲み薬も効果がなく、一晩苦しんだだけで、次の日の朝患部のガーゼがとれた時に投与した座薬が効いてからは楽になった。おまけに入浴も外出も許され、心身ともに安楽に治療を受けることが出来た———そういう思いが自然に医学の進歩を印象づけられたものと思う。それについても持病の腎臓病も、医学の進歩で直る病気になってほしいしそれができなければ、透析の時間が大幅に短縮されるようになるかしてほしいものである。

いずれにしても、医学は進歩しているこれは確かなのであるから、我々の持病も夢を捨ててはいけなと思うし、許される限り生活をエンジョイすることも闘病には良い薬になると思う。

入院中、何人かが集まると治療費の話が話題になったりした。入院が長くなると、それだけ自己負担も多くなる。人によつては、働かなければ収入がなくなる人もいたし、収入があっても、いつもの収入の六割程度という人もいた。これではおちおち入院もして居られないのである。



そんな時、ふと私の脳裏に浮かんだのが、かつて我々の同病者の置かれた、「金の切れ目が命の切れ目」という、医学的にも、経済的にも、たえず命と引替え

という究極の闘病生活の中で、腎友会結成のために血のにじむような労苦を重ねて組織し、政府や厚生省・国会への陳情活動を熱心に行ってくれたおかげで、今こうして安心して治療が受けられることへの感謝の気持ちが込みあげてくるのである。満足な治療が受けられず、いつも病苦に悩まされ、厳しい水分制限と闘いながらの腎友会活動を想う時、自然に頭が下がる思いがするのである。心から感謝しなければならぬと思う。

多くの先達が育ててくれた腎友会は、今厳しい現実と直面している。高齢化社会にあつて、医療費の増大を盾に、「受益者負担」の政策を掲げる厚生省に立ち向かうためには、同病者の団結が不可欠であり、釧路腎友会の活動を活発にするためには、事務所や常駐の職員も必要である。このような難問を解決するためには、政治力が欠かせないのである。団結力や政治力を高めるためには、非会員の

九十%以上の加入が必須の条件と思われる。会員を増やすための努力をし、なんとか活発な腎友会に発展させたいと念願している。

昔は命にかかわる病気であった痔も、今は「やまいだれに寺」ではなく、「やまいだれに職場」の時代になった。退院して翌日から出勤した気分は爽快であった。そのうち、私達の持病も、不治の病ではなくなる時代が来るかもしれないし、心身の負担が軽い状態で治療が可能になるかもしれないのである。お互いに助け合い、励まし合つて有意義な闘病生活を過ごしていきたいと思う次第である。



年賀状印刷幹旋始まりです！

今年も釧路地方腎友会の年賀状印刷幹旋事業の時期がやってまいりました。年賀状の料金は、物価の関係で少し値上りしていますが、患者会の主旨をよく御理解いただいて御協力お願いいたします。

なお、詳しい内容については、後日事務連絡でお知らせいたします。

ご協力ありがとうございました

— 雲仙・普賢岳噴火被災会員支援カンパ結果報告 —

8月8日から8月いっぱいご協力いただいております、雲仙普賢岳噴火被災会員支援カンパが終了いたしましたのでご報告いたします。

おかげさまで、思ったよりたくさんのカンパを集めることができました。さっそく取りまとめて道腎協に送ったところです。

会員皆様のご協力に感謝し報告にかえさせていただきます。

病院別募金額一覧表

病 院 名	募 金 額
市立病院	21,166円
釧路泌尿器科 クリニック	1-2,221円
日赤病院	4,986円
協立病院	2,790円
林田クリニック	6,306円
厚岸町立病院	2,140円
合 計	49,609円



旅—紀—行

~~~~~

## 「秋の道東、

## 日帰りの旅」

纏鹿崎ラニツ

藤原一文

九月八日、日曜日、窓の外は青空、窓を開けてもう一度見たがやはりまぎれもなく、あ・お・ぞ・ら、快晴である。さわやかな空気を胸いっぱい吸い込んでさあ、あとは全員揃っての出発を待つだけとなりました。先生を始め、病院スタッフの皆さん、そして家族の皆さんの笑顔が、並んでいます。早々とビールで喉を潤している人もいます。その時定刻の八時半が過ぎて、阿寒からの最終ランナーが到着。藤原氏である。と言うよりも、私自身、本人である。息せき切って座席に滑りこみセーフ、まずは冷たいビールを一口やって、目ざすは東藻琴、(出発進行)。青い空白い雲、緑の大地に赤い屋根、遠くに見える黒と白のホルスタインがおりなす見事な色彩のコントラスト。そして道東の広大な初秋風景に心奪われ

ていると、いつの間にか眼下に屈斜路湖が飛び込んできた。この湖は、今やクッシーの故郷として世界的に有名になったが、私の思い出としては、六年ほど前に藻琴山に登った際、真夏の炎天下で目にした屈斜路湖です。俗に言うところの「絵の具を流したような風景」と言う言葉にびびったりの鮮烈な水色でした。そんなことを考えていると、最初の目的地東藻琴キャンプ場に到着。昔懐かしいリヤカーで荷物を運び、早速炭火をおこして、鉄板焼きの準備。ヤキソバ、ジンギスカン鍋、さけのチャンチャン焼きなどを平らげて、残るはお目当てのブタ汁。しかし、既に満腹状態になっている人が多いせいか、売れ行きは今一つ。残り分を隣のおばさん達に食べていただき、次の目的地硫黄山へ。つんと鼻をつくような硫黄(異様)のにおい。卵売りのおじさんの声。売店は一カ所なので、どの売場もいっぱいである。名物のソフトクリームも数十人が並んでおり、早々にあきらめました。バスに向かう途中硫黄山をもう一度振り返って見たとき、はっとしました。それはアメリカ映画「十戒」のシーンを思い出したからである。ユダヤの民が、エジプトからモーゼに導かれて、紅海を渡りシナイ山に登っていくシーンにあまりにも酷似していたからである。最後の目的地は「摩周湖」である。夢にま

で見た摩周、あこがれの摩周神秘の湖摩周とはめ言葉をいくら挙げてもきりがない。当日は幸いのこと霧のベールを脱ぎ捨て、湖面にはわずかなさざ波をたたくて全貌を明らかにされた、紺碧に光り輝く柔肌のような、以前はバイカル湖と透明度を競い合っていたが、最近はその座を奪還出来そうもないようだが、頑張ってもらいたい。それにしてもさすが摩周湖は人気のた。特に本州の人には圧倒的人気だ。団体あり、修学旅行あり、新婚さんありで、摩周も思わず微笑んでいることだろう。いや、むしろ嫉妬に耐えているのかもしれない。激しい情念の湖を後に、吾なつかしの釧路に向けて衛星バスはひた走りに走ったのでした。



# 「バス旅行

## 八時間半」

露露露露露露露露露露

久島 奈津子

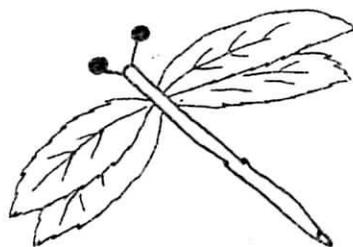
「全真揃いました」と言う東幹事長の言葉と同時に始まったバス旅行。日ごろの行いが良いためか晴天の下で汗をかける一日となりました。東さんときれいなガイドさんを中心にゲームをしたバスのなかでは、食べて、飲んで、遊ぶの繰り返しだったような気がします。笑顔が堪えないのも「旅行のよいところだ」とも思いました。

現地の東藻琴山では一番でメインのジーンキスカン、ブタ汁、ヤキソバなどたくさんありましたが、積極的に参加しないとついていけないほど、みごとに食べっぷりには正直言って言葉もなかったほどです。

はずかしながらもひそかに大きなスベリ台を滑りたいと思っていた私は小さい子の面倒を見るという役をかりと一緒に滑るつもりでした。が、最初は勢いがついていてよかったですけれど、途中からスピードが落ちてきたにつく前に止まってしまいガッカリしました。草原にはバッタがいて、この頃虫を捕まえていない私は野性に戻ったような気がしたのも事実です。

帰りのバスの中では七回問題を間違えてバツゲームに当たり(二分間バスのガイド)をさせられたのもいまとなっては良い思い出です。

夕暮れの中、私たちの乗ったバスは病院の前に着き、八時間半の旅行は終わりました。



## つるつる温泉

### よかったばい!

——紅葉に感動——

恒例秋の一泊旅行が、九月二十八日、二十九日に行われました。

台風が過ぎたばかりで風が強く出発が心配されましたがなんとか無事に出かけることができました。

今年、会員家族が38名ほど参加し、福祉バスがいっぱいになりました。

林田クリニックを経て、市立病院を二時十五分、期待に胸をふくらませながらの出発となりました。

バスの中では、さっそくおいしい飲み物を飲みだす人がいて、「今からそんなに飲んだら月曜日までもたないよ。」などといわれる人もいました。

例によって、バスの中でジャンケンゲームなどしながら子供のようにはしゃいでいきました。途中、山々の木々が色づきはじめ、すばらしい景観を眺めていました。

途中で、オシッコが出る人?のために止まることもなく、二時間ほどで目的地の留真温泉に到着しました。

部屋割りをすませてから、それぞれがゆつくりと温泉に入ってくつろいでいました。

六時から夕食会が始まりました。

開会に先立ち、掛札副会長が参加した皆さんにあいさつをのべられました。

そして、東副会長の音頭で乾杯し、宴会が始まりました。会員はビールなどを許される範囲で腹一杯飲んでいたらよです。お腹がある程度みたされたころ、ゲーム大会が始まりました。(実は食事は

透析患者向きではなかったようです。一つ目のゲームは、新聞切りゲームでした。一枚の新聞をどんな切り方でいいから畳の長さに切った人が勝ちというゲーム。全員がきそい合いました。ピッタリの人が五人ほどいてそれぞれ景品が贈られました。あとの人には参加賞が渡されました。

その次のゲームは、座布団相撲。十枚積み上げた座布団の上に座り、二人が向かい合って手のひらで押し合いをします。先に落ちた人が負けというゲーム。このときはばかりは、参加者全員子供にかえってはいませんでした。

その後は、歌を歌いたい人がカラオケ大会をおこないました。歌を歌った人には努力賞が与えられました。

そうしているうちに、八時を過ぎて一応の閉会となりました。

それでも物足りない人は、ホテル内のスナックに行つて、たっぷり飲んだり歌ったりしていたようです。とても病人とは思えませんでした。

次の日は、朝早くから起きて温泉に入る人、釣りにいく人、散歩する人などそれぞれ楽しんでいました。

朝食のときには、皆さすがに疲れた様子で、帰りのバスの中ではほとんどの人

が眠っていました。こうして、十一時半ころ釧路に無事到着。何の事故もなく終えることができました。参加された皆さん本当にごくろうさまでした。また、これから釧路地方腎友会としての署名活動や、キャンペーンなど活動行事がいっぱいです。そのときはご協力をよろしくお願いいたします。

## 持つべきは

## ものは子

林田クリニツク

飯村 勲

(飯村 シズコさんの息子さんです)

私は一透析患者の息子である。これから書くことは全て母の話に基づくものである。

その日は、遠路はるばる北海道に台風が上陸した日であったが、母は透析を休むことができないので「風が強くなってきた」と思いつつ透析に行ったのであった。そのころ、台風上陸により家の心配

をした息子(私)が家に電話を入れたが通じなかったのであった。昼に電話を入れたときオフロクが何をしていたのか定かではないが、たぶん車中の人になっていたのであろう。(本当はまだ透析室にいた)電話に出るものはいなかった。午後五時、息子は函館から三回目の電話を入れたが母は出ない。「なにかあったにちがいない。」と思いつつ、胸中に不安がわ



きあがった。「いや、友達のうち遊びに行つてんのかもしれない。もう少し様子を見よう。」とも思ったが、それから一時間おきに電話を入れる。だんだん不安はつのるいっぽうであった。

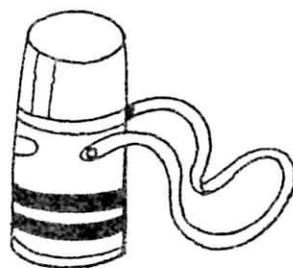
それを知ってか知らずか（知っているない）おふくろは友の会のメンバーと一緒に楽しい時間を過ごしていたのであった。そして、その日のとっても貧しい？夕食を食べ、「ひもじいよう。ひもじいよう。」と思い、心の中では「家に帰ったら腹一杯食べるんだ。」と思いつつながら、床に入ってお腹をグーグー鳴らし、目をパッチリ開けていた母であった。

次の日の朝、息子が病院に電話をいれる。ルルルル、カチャカチャは、林田クリニックでございます。」（朝顔のようなさわやかな声で）

「あの、今函館からかけております。透折患者飯村の息子ですが、おふくろは入院してんでしょうか。」「いいえ、入院していません。透折会の友の皆さんと一緒に旅行に出しております。今日帰ってらっしゃるはずですよ。」（やっぱり朝顔のようなさわやかな声で）

以上のような話を聞き、いくぶん安心したが、いや、おふくろのことだから旅行に行こうとして転んで枕の角に頭をぶつけて動けないんじゃないだろうか。いやいや、ザブトンの角に……はまたゴハンのしたくをしていて豆腐の角になどなどどとめどなく不安が沸き上がるのでした。息子は、ついに耐え切れずセンターでの勉強をほっぽって夜汽車に乗って帰ってきた。夜中であつた。

すると母は息子の思いとはうらはらにピンピンしていたのです。夕食はともかく実に良い温泉であったとのことであつた。



## 「留真温泉・

## 一泊の旅」

留真温泉

飯島かをる

各地に被害をもたらした台風十九号の通過後、九月二十八日午後三時十五分、まだ風もさめやらぬ中を腎友会、留真温泉一泊旅行が予定通り行われました。バスは大揺れに揺れて人が乗っていないかと思ったら横転するんじゃないかといっていた人さえいました。その中を事務局長さんの挨拶とすべらかな名口調の金井さんの司会でゲームなどを楽しみ、車中なごやかなうちに到着、何よりうれしかったのは到着時間当てクイズで私がピタシ、カンカンになったことです。

温泉のお湯は少しぬるめでしたけれど岩風呂もあり、とてもいい気持ちでした。夕食後はゲーム、カラオケで楽しみ、中でも座布団相撲には腹を抱えて大笑いしました。大声で笑えたのは久しぶりだったような気がしています。春は入院して行けませんでしたが、今回は元気で良かったとしみじみ感じています。ごちそうですか？私は風呂に五回も入ったので、それでカバーしました。（最後に一句）

木の葉散る

肌をぬくめる

留真の湯

合掌



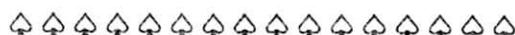
## 留真温泉

### 一泊の思い出

経緯齋ラニッ

山田 セツ子

台風も去り、風が少々(かなり)あったものの、晴天に恵まれ午後三時十五分市立病院を出発、午後四時五十七分留真温泉に到着、六時から宴会といっても飲むのは少々、すぐご飯、しかしご飯が足りないのには参った。半分の人にもいきわたらないのご飯がない。健康な人ならばたくさん飲むのでご飯はあまり食べないと思っ少しか出していなかっただらう。すぐにオヒツ、二、三個を追加、食事内容は決して良くなかったが、その後色々なゲームをやり、腹を抱えて大笑い、九時過ぎ二階のスナックでカラオケ、インチキダンスをして楽しいひとときを過ごす、その代金一人一千百円に金井さんが値切った。サ・ス・ガ・。次の日の朝食後、露天風呂に入る。午前十時出発十二時近く市立病院に到着。来年の旅行はもうちょっとポリウムある食事のところにして頂きたい、四千円でゼイタクは言えないのだが・・・最後に、役員の皆様、色々ありがとうございました。



## 愛読者の声

毎回“たんちょう”を楽しみにしています。透析を始めて満9年が過ぎ、時々体調をこわし入院しますがそれ以外は元気にやっています。この春から裸で寝るようになり、寝返りが随分楽にできるようになりました。汗も出始め、以前ならどんなに熱いラーメンを食べても汗が出なかったのに今ならいくら出ようになりました。HBCラジオでも放送していますが、少しずつ体調が良くなっています。それでも、水分やメロン、スイカ、麺類など食べるときは気をつけています。皆さんも元気で頑張りましょう。

釧路泌尿器科クリニック 横沢 道彦

前略！毎回、楽しい機関紙を送付してくださりありがとうございます。いつも工夫しておられるのが見受けられ、大変感心して拝読させていただいております。この度、下記のところに移転いたしましたのでよろしくお願いいたします。時節がら皆様お体御慈愛ください。草々

札幌市東区北17条東9丁目35ロジェ北17条103  
道腎協事務局長 堀井 和彦

# 北海道大学医学部

## 付属病院の思い出

林田クリニック

大久保 千尋

私は何年もの間、リニューマチのため股関節が悪く、歩けなくなり五十七年十一月二十六日北大病院へ入院しました。

入院予定は一年との診断でしたが、約六カ月で済みました。五十八年三月十日から登別国立病院へ転院、温泉でリハビリを受けていました。そうして、釧路に帰ったのは五十八年五月二十七日でした。

話は変わりますが、私は何度も入院の経験がありますが北大での入院が一番楽しくたくさんの人との出会いがありました。そして、若い先生たちが患者を励ますための心暖まるクリスマスパーティーや節分。今でも、あの時の先生の面白い姿が目に残ります。二日早いクリスマスアイブでした。私が手術をして一日目のことでした。院内、そして病室は電気を消して看護婦さんがローソクを持って病室の前でサンタさんを待っています。

スズの音がだんだん大きくなり、ジングルベルのメロデーが院内いっぱい流れます。サンタとトナカイに扮装した先生五人が各部屋にキーキヤ先生が書いた

メッセージのカードを配りました。また、十八才以下の子にはプレゼントがあります。私を担当の先生は、トナカイに扮していました。大きな太ったトナカイに、私は可笑しくて笑いをこらえることができませんでした。私にももらったカードにはこう書かれていました。

「歩いても痛くない足をプレゼントしました。一日も早く歩けるようになりハシリががんばってくださいね。」

節分もまた楽しかった。私は再手術をして二日目でした。先生は鬼に扮して病室へきます。患者は先生鬼に向かって豆を投げるのです。そのうち、先生同志が豆を投げ合うのでした。一人の先生はベットのかけにかくれる。ある先生はベットを部屋の中央に持ってきて患者を立てにする。またもう一人の先生はドサクサにまぎれて看護婦さんに豆を投げるのです。もう部屋の中はパニックでした。

私の部屋の人はみんな明るく楽しい人ばかりで、よく隠し芸大会をしたものです。また、時々先生がきてくれて歌を歌ってくれました。若い先生でしたのでナウイ歌でした。そんなこんなであったという間の三カ月でした。登別へ行く日は部屋の人と涙の別れをしました。

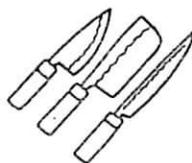
あれから八年、今もその時の部屋の人とは時々会っています。私の友人と札幌へ行った時も、電話をかけたらずぐ会い

に来てくれました。そうして、私にとっ  
て始めて、ススキノの夜をプレゼントし  
てくれたのです。先生の話をすると、今も  
患者を励ますクリスマススイフや節分は続  
いているそうです。私は何年かしたら再  
手術が待っています。また、楽しい北大  
であればいいなあと思っています。



おいしい

お店



今回紹介するお店は、中華専門店「チャイニーズレストラン旭」です。平成元年十月に開店。今は味の良さを聞いて遠くから来るお客様もいるほどです。店内は、丸テーブルが三つに長椅子、奥は小上がりが二つ。窓側のテーブルにはいつも季節の花が飾られ、落ち着いた雰囲気のお店です。二階は宴会場で四五人から五十人位までOKで、中でもおすすめは五目焼きソバ。麵の上にくさんの具の入ったアンののっぺきます。いろいろな味の具が入っているので食べていくのが楽しいですよ。

その他には、日曜日祭日はのぞきますが、昼のランチタイム五百八十円〜千円までコーヒー付き。ポリウムたっぷりでお腹いっぱいになります。お肉に好きな方は是非食べてみてください。

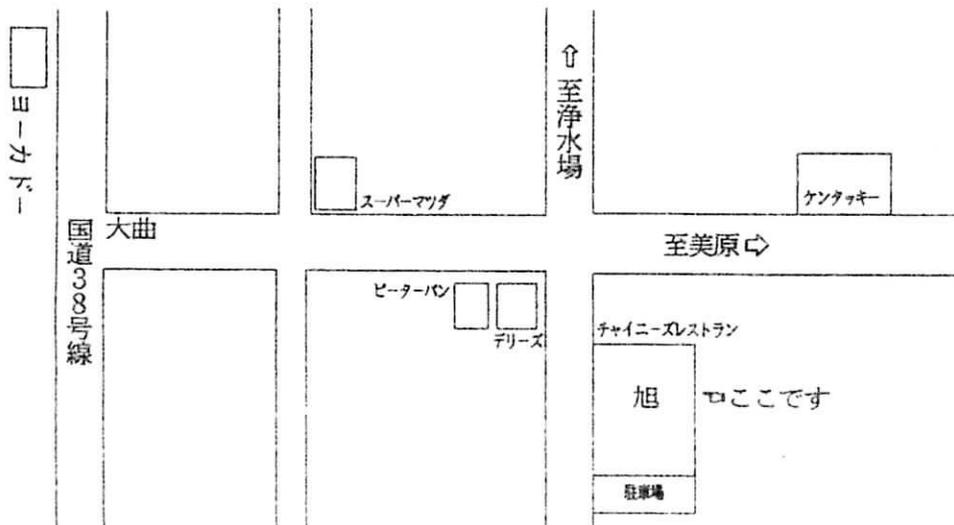
何回も行きたくなる店です。定休日は毎週火曜日で、営業時間は午前十一時〜午後九時半オーダー締切りです。

# 原稿大募集

釧路地方腎友会が発足以来10年以上継続しているみんなの機関誌「たんちょう」!!!  
お気軽に原稿をお寄せください。  
誰でも!何でも!気軽にお寄せください!!!  
たんちょう編集部

営業時間  
AM 10時〜PM 9時半  
毎週火曜日定休日

場所  
市内愛国東四丁目十一の一  
☎ 3612020





## 【会員の動向】

### 【新患者】

鈴木 柳一

川上郡標茶町

毛内 行雄

野付郡別海町

菅原 安信

中標津郡中標津町

佐藤 敏子

釧路市

渋谷 美代子

釧路市

高橋 亮之

釧路市

戸田 重孝

野付郡別海町

今井 康子

中標津町

土門 タマ

釧路市

土井 勇

釧路市

### 【新会員】

今井 康子 市立病院 8月より

渋谷 美代子 市立病院 9月より

土門 タマ 協立病院 9月より

土井 勇 釧泌クリ 10月より

### 【変更】

「移転」

平野 百合子 (市立)

新住所

釧路市

吉田 敏光 (市立)

新住所

釧路市

# 定期会合・講演会は 11月17日(日)

## 【おくやみ】

|    |    |       |
|----|----|-------|
| 星  | 政一 | 8月28日 |
| 山田 | 由雄 | 8月28日 |
| 国岡 | 勝  | 9月9日  |
| 寺田 | 勇夫 | 9月19日 |
| 佐田 | 俊  | 9月23日 |
| 渡辺 | 妙子 | 9月27日 |
| 塚田 | ヒサ | 9月23日 |

### △訂正しとおねお詫び▽

前回8月号で「上田 弘氏」の原稿で誤字が数箇所あり、原文の意図を損ねてしまいました。ここに訂正して深くお詫びいたします。

|   |      |   |           |    |
|---|------|---|-----------|----|
| 誤 | 日劇 ↓ | 正 | 悲劇 1P 一段目 | 18 |
| 誤 | 懸命 ↓ | 正 | 賢明 1P 二段目 | 20 |
| 誤 | 投石 ↓ | 正 | 透折 1P 二段目 | 10 |

